

雪山散策後にデザート

函館七飯スノーパークがツアー



散策の足を止め、ガイドの佐伯さん（右から2人目）の説明を聞く参加者=13日

街なか

エゴコソ

【七飯】函館七飯スノーパーク（東大沼）は、スノーシ

ューを履いて標高約千坪付近の雪山を散策し、デザートを味わうツアー「スノーシューと天空のデザート」を始めた。同パークの担当

者は「スキーやスノーボードをしない人や年配の人にも冬山を楽しんでほしい」と参加を呼びかけている。

午前の散策とランチをセットにした従来の「スノーシューと天空のランチ」に加えて、新たに登場した。参加者は午後1時に集合し、ゴンドラで山頂駅付近へ移動。スノーシューを装着し、ガイドを務める同パークの副支配人佐伯秀信さんの案内で1時間ほど歩く。気象条件がそろえば木々に氷の粒が付着する「霧氷」を見ることも可能で、

展望デッキ「紅葉の谷」では横津連峰などを望む。佐伯さんは「絶景の雪景色を堪能できます」とPRする。

散策後は駒ヶ岳が見える

山頂の「ピークカフェ」でケーキや飲み物のデザートセットを楽しむ。ケーキは同パークを運営する鈴木商会（東京）グループの「安芸ランドホテル」（広島）パティシエが作ったもので、瀬戸内レモンケーキ、ガトーショコラ、克蘭ベリケーキの3種類から選べる。

3月末まで。料金はゴンドラ、デザート、ガイド代込みで8千円。スノーシューとボールのレンタル（2千円）、ウェアのレンタル（同）もある。定員2〜10人。1週間前までに電話予約を。申し込み、問い合わせは同パーク、電話0138・67・3355へ。

（石井久恵）

地域情報版

みたまみたま風